

図書館だよりのタイトルは小樽市の木シラカンバ（シラカバ）にちなんで命名。

市立小樽図書館

〒047-0024 小樽市花園 5-1-1

TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>



休館日■黒い枠

12月 図書館カレンダー 11月15日現在						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

行事などの最新情報はこちらをチェック！

小樽図書館

検索



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

◇開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで

土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで

◇休館日

12月 曜日 1日・8日・15日・22日
館内整理休館日 26日（金）
年末休館日 29日（月）～31日（水）

1月 曜日 5日・19日・26日
館内整理休館日 30日（金）
年始休館日 1日（木）～3日（土）
※祝日（1／12成人の日は開館いたします）

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 祝日開館	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

予約ベスト5

() の人数はR7. 11. 14現在の予約人数です。

◎架	空	犯	(東野 圭吾)	(50人)
◎マスカレード・ライフ			(東野 圭吾)	(47人)
◎カ	フ	ネ	(阿部 暁子)	(46人)
◎月		収	(原田 ひ香)	(41人)
◎禁	忌	の	子	(山口 未桜)
				(30人)

今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。



K031

「大人も知らないみのまわりの謎大全」

ネルノダイスキ 著

児童書と侮ってはいけません。何気なく見過ごしている日常の風景も宇宙人の子ども(という設定)の目線で見ると、不思議なことだらけ。「線路にはなぜ石が敷き詰められているのか」「ビルの入り口の定礎の正体」あなたは答えられますか？かわいい装丁とうってかわって劇画チックなマンガは好みがわかれそうですが、わかりやすく身の回りの謎を解き明かしてくれます。

(H・N)

「通ります!・・・」の巻



ハート職人、今夜も夜なべ?

今年はかなり動いた。去年の雨漏り地獄を二度と繰り返さないために、動いたのだ。屋根に積もった落ち葉が大きな原因だった。屋根の掃除など全くしてこなかったから、逆に数十年もよくぞ持ちこたえたと思う。我が家周辺の樹木を伐採しなくてはならない。自力で出来ることをしようと立ち上がったわけだ。同じような悩みは全国各地であるようだ。イメージトレーニングのために樹木を伐採する動画をいくつか見た。特に素人の女性が一人で頑張っている動画は素晴らしい。動きたくなる軽快なBGMも良い。毎回見ているうちに何かしなくてはと思う。そしてそこで使われている道具も魅力的。我慢がならず家族は電動のハサミを購入した。実際それは少し太めの枝がサクサクと切れる優れもの。諦めて放り投げていたサクラランボの枝もすいすいと切れたのだ。そうなるとうち新たな道具を手に入れたが家族。いつの間にか道具は増えていた。握力の乏しい私はごみ袋に家族が切った枝や落ち葉を拾って入れていく担当に徹した。作業場は少し斜めになっている上に、時々虫がひょっこり現れる。心臓に悪い状況下、30分も作業しているとかなりの疲労だった。家に帰ってアイスクリームの小1個を食べて、パワーチャージ。ごみ袋を持って外に出る。我が家には十数段の外階段がある。かなりのくわせものだ。手すりは古くなってガタガタ音を立てる。車庫から出入りする道もある。階段はあるが段数が少ない。しかし大きな欠点がある。そこは虫たちの社交場。遭遇しないために階段の手前から大きな声を出したり、ドタドタと音をたてたりしてみる。そんな努力も空しく、いつもやっぱり、いる。

小説類



「みちゆくひと」 彩瀬 まる 著
2年前に父が他界し、先月、母もこの世を去った。不動産会社で働く燈子は天涯孤独に。でもずっと前から一人だったのかもしれない。20年以上前の不幸な出来事をきっかけに…。

「さよならジャバウォック」

伊坂 幸太郎 著
結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は別人のように冷たくなった。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。



「キャベツ炒めに捧ぐリターンズ」

井上 荒野 著
都内のちいさな商店街で、惣菜屋「ここ家」を営んでいる60代後半の江子、麻津子、郁子。そんなある日、店の立ち退き問題が。いろいろありながらも、前を向いて歩く彼女たちの愛おしい物語。

「命の横どり」 久坂部 羊 著
臓器移植コーディネーターの真知は、拡張型心筋症と診断された池端麗を担当することに。ある日、麗に合致するドナーがいるとわかり臓器提供に向けて動き出すが、ドナーの母親は納得せず…。

「ふたりの歌川」 武内 涼 著
私は北斎を超えたい！情景画を得意とする広重と常識破りの奇想絵の国芳に、北斎の娘・お栄を絡めて、画に魅入られた絵師たちを活写する長篇時代小説。



「水は動かず芹の中」 中島 京子 著
スランプに陥った小説家は、気分転換に唐津を旅することに。陶芸体験をした窯元の夫婦から、天下一の茶人が愛でた茶碗と、戦を逃れ天竺から九州に辿り着いた「水神」の奇想天外な物語を聞き…。

「彼女たちは楽園で遊ぶ」 町田 そのこ 著
高校を退学し、突然、新興宗教に入会した美央。美央を取り戻そうと潜入する凜音。東京から〈特別〉になるために施設にやってきた初花。凜音が奔走するなか、町では若者の不審死が連続し…。

「登山大名」 上下 諸田 玲子 著
四代将軍・家綱の世。公儀の執拗な締め付けに苦しむ岡藩の領主となった久清は、軍事訓練中に賊に襲われた娘を救う。娘は行方をくらますが…。



「三頭の蝶の道」 山田 詠美 著
「男とか女とかじゃないのよ、文学に魅入られているか、いないか、なのよ」女性作家が「女流」と呼ばれた時代、文学に身を捧げた女たちの創作の業を描く。

随筆



「遠慮深いうたた寝 続」 小川 洋子 著
毎日歩いている道端、何気なくつけたテレビの画面…。胸に飛び込んできた一瞬が、思いがけず深く刺さり、奥行きが生まれ、隠れた扉が開かれて遠くから光を運んでくる。

「踊り場に立ち尽くす君と日比谷で陽に焼かれる君」 金原 ひとみ 著
デビュー作の芥川賞受賞、結婚、出産、手を離れていく子供たち、離婚、そして新たな場所へ。「母」というペルソナをはじめ、金原ひとみが作家生活20年にわたって書き継いできたエッセイと掌編小説を完全収録する。

その他

書名の前の数字は分類番号です。



929.1 「まぶしい便り」

ペク・スリン 著
派遣看護師としてドイツに渡っていた伯母を頼り、韓国から西ドイツに移り住んだヘミ。ある日、伯母と同じ派遣看護師の子どもであるハンスから頼まれたのは…。

953.7 「空、はてしない青」 上下

メリッサ・ダ・コスタ 著
余命2年と宣告されたエミルは、人生最後の旅の同行者を掲示板で募集する。返信をくれたジョアンヌと名乗る小柄な若い女性と2人で、とりあえずキャンピングカーでピレネー山脈へ向かう。それは驚くほど美しい旅の始まりで…。

新着一般書

書名の前の数字は分類番号です。

159 「お悩み相談そんなこともアラナ」

ヨシタケ シンスケ 著



生きる希望とはどんなもの？
夫婦仲よく過ごすコツは？元
気のない歴50年のヨシタケ
シンスケが、「元気のない人の
考え方」で、数々のお悩みに答
える。『月刊MOE』掲載に描
きおろしを加え再編集。

288. 4 「側近が見た昭和天皇」

北野 隆一 著

戦前・戦後の重要局面で、昭和天皇は本当は
何を思い、何をしたかったのか。「百武三郎
日記」「拝謁記」といった天皇の肉声がリア
ルタイムで綴られている側近による記録を
丹念に読み解き、人間・昭和天皇の知られざ
る姿に迫る。

304 「海外かぶれの日本人が言わない欧米 住んだら地獄だった件」 谷本 真由美 著

「貧乏人は早く死ぬ」欧米医療の
冷酷な現実、貧相でジャンクでま
ずい食事、海外の男子たちの危険な
性欲、日本人も中国人も韓国人も
全部同じで最底辺…。イギリス在
住の著者が明かす、ヨーロッパ&
アメリカのゲスい真実。



326. 4 「死刑囚と家族になるというこ と」 月刊『創』編集部 編

なぜ敢えて死刑囚と家族になったのか。オウ
ム幹部、やまゆり園事件・植松聖死刑囚と獄
中結婚した女性たちや、連続リンチ殺害事件
死刑囚と養子縁組をした女性の手記などを
収録。『創』掲載をまとめ、死刑囚の実情を
伝える。

452. 9 「名水と日本人」 鈴木 康久 著

日本人と縁が深い水。名水というキーワード
から日本人と水の関わりを案内。弘法大師伝
説が全国に広がった理由や歌枕になった名
水、茶の湯・酒造と名水などを時代ごとに解
説する。名水の歴史と科学、文化を伝える一
冊。



509. 2 「高く売れるものだけ作るドイツ人、 いいものを安く売ってしまう日本人」

岩本 晃一 著

ドイツにも抜かれ名目GDPが世界第4位に
転落した日本。人口が日本と比べて3分の2の
ドイツに負けたのはなぜか？ものづくり大国・
ドイツの経済を支える優れた中小企業の実情
に、日本再生のヒントを探る。

594. 3 「はじめてのTセーター」

毛塚 みどり 著

毛糸10玉でできる！いつか
セーターに挑戦したい編み物
初・中級者向け、まっすぐ
編むだけの「Tセーター」を
紹介。基本のTセーターの編
み方を、手順に沿ってプロ
セス写真で解説する。製図・
編み図も掲載。



796. 0 「師匠はつらいよ 2」

杉本 昌隆 著

将棋界を牽引する若き天才、藤井聡太七冠の師
匠としても知られる著者が、最強すぎる弟子と
の楽しくもトホホな日常を軽やかに綴ったエ
ッセー集。有働由美子との対談も収録。『週刊
文春』連載を書籍化。

815. 6 「にやるほど！ コミュカUP 語彙辞 典」 本多 正識 著



コミュニケーションの鍵を握る
のは副詞だった！？副詞の言葉
をかわいいニャンコの写真とそ
れにマッチするキャッチコピー
(例文)で紹介。癒され笑いなが
ら副詞の語彙を増やし、使い方
をマスターできる辞典。

910. 2 「週刊文春トップ屋魂」

大下 英治 著

「文春砲」は、ここから始まった！
雑誌記者デビューから55年、著書
500冊超のジャーナリスト・大下
英治の集大成。昭和・平成の怪物た
ちの裏の顔に鋭く迫った『週刊文春』
の名物記者が、その舞台裏を描く。



児童資料

「くまのおやこのきょうはさかなつり」
エリン・E・ステッド 著
おとうさんぐまとこぐまは、ぶかぶかのズボンをはきます。それから長ぐつ。さいごにポケットとフードがついた黄色いコート。さあ、さかなつりの準備ができました。…ほんとに？
繰り返しが心地よい、ユーモアあふれる絵本。

「一年一組せんせいあのね」 鹿島 和夫 著
ぼくがすきなのは、ふゆやすみとはるやすみとなつやすみとずるやすみです。神戸市小学校で鹿島和夫が担任した1年生が書いた日記ノート「あのね帳」から生まれた本。54人の子どもの詩をヨシタケシンスケの絵とともに収録。

「月夜のおばけ自転車」 齊藤 洋 著
夜道に自転車のおばけが現れた！自転車は誰も乗っていないのに動き、夜道をひとりで歩く人の前に現れるという。自転車の出現場所を突き止め、張り込むパパとナツカだが…。ナツカのおばけ事件簿シリーズ第19弾。



郷土資料

書名の前の数字は分類番号です。

A211 「アイヌ文様とコロポックルの謎を解く」
タマ 著
小学生の頃から身近にあった縄文土器や石器の発見・収集に夢中になり、縄文文様に込められた縄文人の心を探り続けてきた著者が、猫のタマとの対話形式でアイヌ文様のルーツに迫る。

H291. 1 「函館本線へなちょこ旅GO!!」
館浦 あざらし 著
行きは歩き、帰りは列車で函館本線全駅制覇を目指した旅の記録。「函館本線へなちょこ旅」1～4の粗筋（札幌駅～本石倉駅）と、本石倉駅から大沼駅までを収録する。

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①12月6日 ②12月20日

③1月10日 ④1月17日

【場 所】 ①③図書館1階 児童室えほんコーナー

②④図書館2階 視聴覚室

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」
「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作。
協力：たるBOOKの皆さん
②「たるばとクリスマス」
クリスマスにちなんだおはなし会や工作など。
④「冬のおはなし会」
エプロンシアターやなぞなぞ、ハンドベルの演奏、工作。協力：すすくぶんこの皆さん



「乳幼児向けおはなし会 たるびよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

12月5日、12日、19日

1月9日、16日、23日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

「ぐうちよきばあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきばあ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 12月10日（水）、1月14日（水）

午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

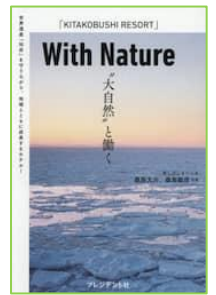
「ミニミニブックフェスクリスマススペシャル」

毎月、たるびよタイムのあとに開催している「ミニミニブックフェス」のクリスマススペシャルとして、絵本に親しみを持ってもらうため、表紙が見えるようにクリスマスに関する絵本を並べます。

【日 時】 11月29日（土）～12月25日（木）

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

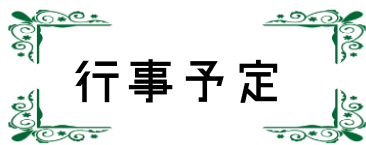
【対 象】 どなたでも



H689. 8 「With Nature」

桑島 大介 著

世界自然遺産の知床で宿泊業を営む企業「北こぶしリゾート」の経営陣が、その取り組みや、“宿泊業”の枠にとどまらない挑戦について説明。働くスタッフの姿を紹介しつつ、求める人材にも言及する。



行事予定

12月 1月

催し

おたる図書館シネマ座（映画鑑賞）

「動物の赤ちゃん ドキドキ編」

12月7日（日）午後1時半～2時半

図書館2階 視聴覚室

2014年日本制作。全国の動物園・水族館で生まれたかわいい赤ちゃんたち。赤ちゃんが誕生・成長してゆく様子をアルバム風に紹介します。ドキドキ編は、ホッキョクグマのミルク、アフリカゾウの砥愛、チンパンジーのゴウなどのお宝映像を収録。

「誰が為に鐘は鳴る」

1月11日（日）午後1時半～4時

図書館2階 視聴覚室

1943年アメリカ制作。サム・ウッド監督。アーネスト・ヘミングウェイ原作。ゲイリー・クーパー出演。ヘミングウェイの世界的ベストセラーを壮大なスケールで映像化したラブロマンス。カティナ・パクスノーが第16回アカデミー助演女優賞受賞。（字幕）

ミュージックプロムナード（音楽鑑賞）

【日 時】1月25日（日）午後1時半～2時半

【内 容】「馬にまつわる歌」2026年の干支である馬にまつわる歌をお楽しみください。

【対 象】どなたでも

【場 所】図書館2階 視聴覚室



展示

「寿司の世界」

【日 時】12月11日（木）～12月25日（木）

【内 容】小樽といえば寿司…ということで、料理本のほか、寿司ネタになる魚に関する本などを展示・貸出し

【場 所】図書館1階 エントランス



「紅白本合戦」

【日 時】12月12日（金）～12月25日（木）

【内 容】表紙が赤い本と白い本を展示・貸出し。借りたほうの丸シールを貼って紅白本合戦に投票してください。丸シールで「迎春」の文字を完成させましょう！

【場 所】図書館1階 カウンター前



「豊臣兄弟！」

【日 時】1月7日（水）～1月21日（水）

【内 容】1月から放送予定の大河ドラマにちなんで、豊臣秀吉・秀長、戦国、安土桃山時代に関する本を展示・貸出し

【場 所】図書館1階 カウンター前

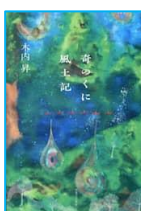


第53回泉鏡花文学賞



「墳墓記」 高村 薫 著

老いて死に瀕した一人の男が、長い長い仮死の夢を見る。そこに沸き立つのは高らかな万葉びとの声、源氏物語や伊勢物語の声、古今・新古今の歌の声。古代と現代文の自在な往還を試みた長編小説。



「奇のくに風土記」 木内 昇 著

ある日、草花の採取に出かけた紀州藩士の息子・十兵衛(後の本草学者・畔田翠山)。山中で天狗と出会ってから、面妖な出来事が身の回りで次々と起こり…。時代幻想譚。